

# オンライン研修会

## 「あいまいな喪失」理論と実践

「あいまいな喪失(ambiguous loss)」とは、喪失自体があいまいで、不確実な状況にあります。東日本大震災以降、日本でも注目された「あいまいな喪失」は、家族が行方不明の状況や、災害後に故郷があるにも関わらずその町がすっかり変わってしまったという状況だけでなく、認知症や精神疾患の患者家族、離婚後の親子、現在のコロナ禍における先の見通しが見えない状況に至るまで、対人支援の中で汎用性の高い概念です。

このたび、インターネットライブ配信で、この「あいまいな喪失」について、その理論と介入方法を提唱している Pauline Boss 博士の考え方と実際の支援方法を、基礎からわかりやすく学ぶことができる研修会を開催いたします。どうぞ奮ってご参加下さい。

### Zoom ライブ配信

日時: 2021年3月20日(土) 10時~12時

対象: 医療、心理、福祉、教育、災害などの分野で支援職に従事している方、およびそれらの領域の研究者、学生、大学院生

内容: あいまいな喪失理論の講義(基礎)、災害におけるあいまいな喪失、認知症とあいまいな喪失、離婚とあいまいな喪失

講師: 石井千賀子(石井家族療法研究室)、瀬藤乃理子(福島県立医科大学)、黒川雅代子(龍谷大学短期大学部)、青木聡(大正大学)

定員: 200名(先着順)2021年2月28日受付締切

参加費: 2,000円(事前振り込み)

申し込み: JDGS Project「あいまいな喪失」情報ウェブサイト (<http://al.jdgs.jp/>) の研修会ページ内・専用フォームからお申し込みください。



研修会ウェブサイト

専用フォームにアクセス出来ない場合は、[ambiguousloss0320@gmail.com](mailto:ambiguousloss0320@gmail.com) に直接お申し込みください。

お問い合わせ先: 龍谷大学短期大学部 黒川雅代子 [ambiguousloss0320@gmail.com](mailto:ambiguousloss0320@gmail.com)

主催: JDGS (Japan Disaster Grief Support) Project

共催: 日本家族療法学会、福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室、福島県立医科大学災害こころの医学講座

後援: ふくしま被害者支援センター、NPO 法人子どもグリーンサポートステーション、NPO 法人仙台グリーンケア研究会  
盛岡ハートネット、京都グリーンケア協会